

## 京都BCP推進会議（第10回）の開催結果

- 1 日時 令和5年1月11日(水) 14:00~15:30
- 2 場所 オンライン開催（事務局会場：京都府職員福利厚生センター第1会議室）
- 3 出席者 学識経験者 名古屋工業大学 渡辺研司教授  
経済団体 京都府商工会議所連合会、京都府商工会連合会、  
（一社）京都経済同友会、（公社）京都工業会  
金融機関 京都中央信用金庫  
ライフライン機関 西日本電信電話(株)、関西電力送配電(株)、  
大阪ガスネットワーク(株)、京都府営水道  
行政 京都府市長会、京都府町村会、京都市、京都府

### 4 概要

〈別添資料に基づき検討を実施〉

- 事業継続力強化支援計画の取組を推進する。
- 個別BCP策定支援の取組に加えて、府内経済団体等と協力し、策定したBCPの実効性を高めるような検証・訓練等の支援を検討する。

### 5 意見交換等の内容

〈令和3年度の取組実績、令和4年度の取組実績及び取組計画〉

- 事業継続力強化支援計画について、府内20商工会の半数以上が計画未策定という現状を踏まえ、引き続き各商工会に早急な計画策定の呼びかけ及び支援に取り組んでいくところであるが、各自治体からもバックアップをいただけると助かる。（京都府商工会連合会）
- 官民連携が重要であると思うので引き続き尽力して参りたい。（京都府町村会）
- 官民、地域住民や雇用の確保の観点からも重要な取組であり、日頃から個別のレベルで腹を割った関係を作っていってもらえればと思う。（渡辺座長）
- 京都府の取組について、長田野工業団地での官民連携タイムラインの作成については、全国の工業団地に先駆ける先進事例として、完成を目指して引続き進めていただきたい。また、ライフライン連絡会のように、年に1、2回であっても実際に集まり、顔の知った関係を作っておくことの重要性が、昨年南丹市の対応事例で明らかになったところ。毎年各組織内で担当者の異動もあると思うが、普段から各組織間で繋がり

を持ち続け、災害時の初動対応の早さや実効性の強化を図っていくことが大切である。企業交流会についても、各企業の持つ共通課題の発見等に繋がる可能性があるので、各経済団体には傘下の企業への呼びかけを是非積極的に行っていただきたい。（渡辺座長）

〈令和5年度取組（案）について〉

- 府内8商工会議所や経営支援先の企業へ、メルマガ等を活用した周知を行うという形での協力は可能である。（京都府商工会議所連合会）
- 企業に対する日頃の支援活動の中での取組推進というところに加え、各企業にとって平時でのBCPの取組については優先順位が低いと想像できることから、平時だからこそその取組の必要性について、まずは職員・経営支援員への周知・落とし込みから始めていきたい。（京都府商工会連合会）
- 各企業については、平時の活動に落とし込む形でないとどうしてもBCPについて考える余裕がない。どうしたら納得して取り組んでいただけるのかということも含めてご助言いただけたら、具体的な推進活動に繋がると思う。（渡辺座長）
- 日頃からの顔の見える関係作りが大事だと考えている。令和5年度取組（案）の中で、既にBCPの取組を進めている企業と、これからBCPに取り組んでいく企業という分け方で支援を進めていくこととしていたが、それに加えて、狭いエリアごとにと取組状況が異なる企業間での情報交換をしていくことも必要だと思う。（京都工業会）
- 行政からの呼びかけという形だとどうしても構えてしまう企業もある。行政、ライフライン事業者、関係機関含めて支援プラットフォームが整っている中で、その環境をどう使い倒すかということを経営者に周知、促進していただければと思う。（渡辺座長）
- 京都中央信用金庫については、日頃から様々な企業と連携して活動をされていると思うが、日頃の活動の中で感じるBCPの取組に対する理解・気運についてお聞かせ願いたい。（京都府）
- 各企業が平時からBCPについて考えることはどうしても難しいのかなと感じる。令和5年度取組で個別BCPの実効性確保を考えていくなれば、まずは取り組みやすいところからスモールスタートで取り組んでいく必要があると思う（京都中央信用金庫）
- 企業活動は県境で閉じているわけではなく、広域災害になると近隣府県とも連携して対応することが考えられる。今後も各組織間で連携してどんどん取組を進めていただけたらと思う。（渡辺座長）